

令和7年
2025年

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1 仏滅 うし
2 大安 節分 とら	3 赤口 立春 う	4 先勝 たつ	5 友引 み	6 先負 初午 一粒万倍日 うま	7 仏滅 北方領土の日 ひつじ	8 大安 こと始め 針供養 さる
9 赤口 とり	10 先勝 いぬ	11 友引 建国記念の日 紀元祭 三りんぼう あ	12 先負 ね	13 仏滅 一粒万倍日 うし	14 大安 とら	15 赤口 う
16 先勝 たつ	17 友引 祈年祭 み	18 先負 雨水 二の午 一粒万倍日 うま	19 仏滅 ひつじ	20 大安 さる	21 赤口 とり	22 先勝 いぬ
23 友引 天皇陛下御誕生日 天長祭 三りんぼう あ	24 先負 休日 ね	25 仏滅 一粒万倍日 うし	26 大安 とら	27 赤口 う	28 友引 たつ	

如月

〔きさらぎ〕 令和7年2月

一年の中で最も寒さを感じる月で、着る物をさらに増やす月という意味で着更着とも書きます。

発行：北海道神社庁一區教化委員会

人の一生は重荷を負ふて、遠き道を行くが如し、急ぐべからず
— 徳川家康・東照公御遺訓 —

今月のことば

人の一生は重荷を負ふて、遠き道を行くが如し、急ぐべからず
— 徳川家康・東照公御遺訓 —

東照公御遺訓は右を冒頭として、次に

不自由を常と思へば、不足なし。心に望み起らば、困窮したる時を思ひ出すべし。堪忍は無事長久の基、いかりは敵と思へ。勝事ばかりを知て、負くることを知らざれば害其身に至る。おのれを責めて、人を責むるな。及ばざるは過ぎたるよりまさり。

とある。まことに銘言である。織田信長・豊臣秀吉の跡を受けて、天下の人心を掌握した苦勞人徳川家康の処世訓・人生訓のエキスがここにまとめられてある。人の一生は坦々たるものではない。重い荷物、重い責任を負つて、遠い道を歩いて行くやうなものだ。そのためには、一歩、一歩を完全に、且つ着実に踏みしめて行くことが大切である。一般的にいへば、「平常心はれ道」だといへる。最初の目的に到達するためにも、一歩一歩、毎日の言行を完全着実にして、いい加減なことを云ひ且つ行はないことが大切だとして教へである。
(神道百言 一般財団法人神道文化会編より抜粋)

季節のまつり

節分 二月二日
家族そろって「鬼は外」

節分は、季節が移り変わるときという意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を言いましたが、特に気候が冬から春に移る時期であることから、立春の前日だけを呼ぶようになりました。そして、季節の変わり目には災いや疫病が増えるため、厄や邪気を鬼に見立てて追い払う「追儺」の行事を取り入れて、豆まきを行います。また、豆まきの年の数だけ食べるのは、年取りの行事で、新しい年を健康(まめ)に暮らせますように願いを込めて食べます。



恵方 恵方巻き
今年の恵方は「西南西」

恵方とはその年の干支によって定められた最も良いとされる方向のことです。今年の恵方は「西南西」です。その方向に歳徳神がいるといわれ、節分にその恵方に向かって巻き寿司を食べることから「恵方巻き」や「恵方寿司」と呼ばれるようになりました。恵方巻きは目を閉じて願い事を思い浮かべながら、恵方に向かって無言で一本丸ごとの海苔巻きを丸かぶりします。巻き寿司を切らずに食べるのは「縁を切らない」という意味が込められており、七福神にちなんで七種類の具材が入れられ、「福を巻き込む」という願いも込められています。

二十四節気

【立春りつしゅん】…三日
太陽黄経三百十五度のときにあたり正節で節分の翌日になります。暦の上ではこの日から春ですが、まだ寒さは厳しい候です。

【雨水うすい】…十八日
このころ雨水ぬるみ、草木が発芽しはじめます。

六曜・選日

【六曜】
【先勝】…諸事急ぐことによし、午後よりわるし
【友引】…朝夕よし、正午わるし、葬式を忌む
【先負】…諸事静かなることによし、午後大吉
【仏滅】…万事凶、患えは長びくおそれあり
【大安】…何事をするにも吉の日、大吉日
【赤口】…諸事油断すべからず、正午のみ吉
【選日の吉凶】
【三りんぼう】…三隣亡日、普請始め、棟上大凶日
【一粒万倍日】…出資・投資・購入、新規事業開始
婚姻は吉、借りの、離別は凶

七十二候《2月》

雨水 立春
初候・東風解凍(はるかぜこおろぎをたぐ) 春の風が氷を解かす
次候・黄鶯見院(こうおうげんかんす) ウグイスが鳴き始める
末候・魚氷上(うおこおりにのぼる) 割れた氷から魚が飛び出す
初候・土脈潤起(ちのしよめつじゆんき) 土が雨で濡り気を帯びる
次候・霰始隸(かすみはじめてたなびく) 露がたなびき始める
末候・草木萌動(そうもくもくせいどう) 草木が芽吹き始める

いぬめ
安産祈願 2月の戌の日
10日(月)
22日(土)
*戌の日以外でも安産祈願のご奉仕をしております。神社にお問い合わせください。

《11日 建国記念の日》
建国をしのび、国を愛する心を養う日です。

《23日 天皇陛下御誕生日》
天皇陛下の御誕生日を祝う日です。

祝祭日には国旗を掲げましょう

令和7年の厄年

男性		女性	
数	生年	数	生年
25歳	平成13年生	19歳	平成19年生
42歳	昭和59年生	33歳	平成5年生
		37歳	昭和64年生 平成元年生

還暦
男女 61歳 昭和40年生

※各年齢の前後が前厄後厄となります。
※厄年には地域や神社により習慣の違いがあります。
詳しくは御社頭にてご確認ください。

「厄年」とは何歳ですか？
厄年は男性が二十五歳・四十二歳・六十一歳で、女性が十九歳・三十三歳・三十七歳の年回りを言います。その前後の年齢を「前厄」「後厄」と言います。中でも、男性の四十一歳は「死厄」、女性の三十三歳は「散々」に通ずるといふ語呂合わせから「大厄」と言われて、特に意識されることが多いようです。神社では、正月から二月の節分にかけて『厄祓』のご祈禱を受ける人が多く見られます。厄年は近年、医学的に解明しようとする試みもなされていますが、ホルモンの分泌量の変化や、免疫力低下などにより体調不良を起すことがデータの的にも多いようで、神社での厄祓の際に授与された神札を神棚におまつりし、お守りを身近に持ち歩くなど、普段より健康に留意し、生活することが大切でしょう。

きょうぞんきょうえい
共存共栄
自他ともに生存し、
繁栄すること。

椿(つばき)

参考文獻
『日本人のしきたり』飯倉晴武(青春出版社)

針供養 なぜ二月八日なのか？
二月八日には、日ごろ使っている針を供養する行事があります。これは江戸時代から始まった行事で、この日は針仕事を休んで、折れたり曲がったりして使えなくなった針を、こんにやくや豆腐、餅などに刺して、川に流したり、神社やお寺に持ち寄りました。
そして、日常生活に欠かせない針に感謝をささげるとともに、針仕事の上達と安全を祈ったのです。
この針供養は、地域によっては二月八日と十二月八日の年二回行いますが、この二日は、こと始めとこと納めという厄日に当たるために、針仕事を休んで針の供養をするようになったということになります。
最近ではこの行事はあまり見られなくなりましたが、和裁を教える学校などでは、現在でも針供養を行っています。